

学校だより

翔 空

No. 46 平成25年 2月28日(木)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

【名言・格言 第9弾】

「寒風の中に己を鍛える」とは名言ですが、次にあげる2人の言葉もぐっと胸にくるものがあります。

「いつまでも続く不幸というものはない。じっと我慢するか、勇気をもって追い払うかいずれかである。」
(ロマン・ロラン)

「前途は遠い。そして常に暗い。しかし恐れてはならぬ。恐れぬ者の前に道は開ける。行け。勇んで。小さき者よ。」

(有島 武郎)



今日は、2月28日。3年生にとっての実質登校日が、10日を切ってしまいました。

感動的な卒業式を迎えるために、みんなの心を一つにして練習に励んでいます。



「3月7日入試本番です！」 ～最後の詰めが大切です～

昨日(2月27日)は、生徒会総会と3年生を送る会が開催されました。総会も送る会も、一大行事である卒業式をのぞいて3年生にとって最後の生徒会行事となりました。卒業生の思いをきちんと受け止めて、1・2年生は「喜久田中の伝統」を引き継いでくれるものと確信しています。

さて、忘れてはならない県立Ⅱ期の入試日が迫っています。あと一週間後(3月7日)です。本校からも30名の生徒が受験します。この時期、次のような相談を受けることがよくあります。

「これからⅡ期を受ける娘は、内気でとても神経質です。入試はとても緊張すると聞いています。共働きなので、今まで、満足に声をかけられずにいて、受験日の当日がとても心配です。今、どんな心構えが必要でしょうか？」

こんな相談には、私はいつも次のように答えるようにしています。

「初めての入試に挑戦するのですから、親自身が今から結果を気にするよりは、お子様の今までの努力の姿を褒めることを忘れないでください。最後の追い込みについての助言としては、①あれこれ思い悩んでいるよりは、基本的事項を徹底して学習し、時間があれば、まずは、今までやってきた問題集に取り組むようにする②基本的事項は、読み、書き、とにかく声に出して確認する③疑問点は、そのままにするのではなく、必ず先生や友人に質問をする、などをあげます。また、面接においては、さわやかな笑顔で、文の語尾をはっきりと、試験官の目元を見て話すことが大切です。受験目的(志願理由)、将来の希望(進路選択)、高校生活での取り組み(抱負)などがよく聞かれるので、事前に最終確認をし、まとめておく。最後に、親としてできることは、①子どもの体調をベストコンディションに保てるようにする②朝6時頃までには起きる習慣を、ここ7日間でもよいので身に付けさせる③親や周囲のことをあまり気にしないよう話す、などでしょうか。万が一、不合格になってもⅢ期選抜などのチャンスがあることを話して、最後まであきらめない姿勢や希望を持って挑戦する態度を持たせてください。とにかく、自信を持たせて受験当日送り出してください。」



この時期、3年の子どもたちは、お互い助け合って、放課後遅くまで勉強しています。その姿を見るにつけ、全員が合格を勝ち取ることを心底祈るばかりです。

「15の春を泣かすまい」心一つにして・・・